

平成28年度 柏崎市刈羽郡道徳部 活動報告

部長 西澤 貴志

1 研究主題

豊かな心をはぐくみ、道徳的実践力を育てる道徳の時間の指導

2 研究の概要

次期学習指導要領の改定で「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」になる。そこでは、「考える道徳」「議論する道徳」への改善が求められている。各学校において、「特別の教科 道徳」開始の前に、その理念と実施概要について共通理解を深め、本格的にその準備を開始しなければならない。そこで、各学校の郡市学校研道徳部員が、各校の道徳教育の推進役として活躍できるよう研修会を実施した。

3 研究の実際

(1) 教育センター研修会

期 日 平成28年10月26日(水)
場 所 柏崎市立教育センター
講 師 県立柏崎翔洋中等教育学校
教諭 重野典子 様
演 題 「道徳授業づくり講座
～特別の教科道徳に向けて～」



講師の重野典子先生

内 容

- ① 「特別の教科 道徳」で求められるもの
「考え、議論する道徳」「多面的・多角的に考える道徳」「主体的で対話的な深い学びを実践する道徳」の実現に向けたポイント
- ② パッケージ型の授業構想
 - ・ 「なぜそれが問題なのか」「どうして迷っているのか」「どうすればよくなるのか」「それはなぜか」という問題解決的な学習における基本的な学習過程
 - ・ グランドデザインを基礎として、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を道徳、各教科、学活、行事等の中で結び付けて行うパッケージ型の授業
- ③ 指導案作り
重野先生から御用意いただいた資料を基にした、「主体的で対話的な深い学びを実践する道徳」の指導案づくり

(2) 実践集録の作成

部員一人一人が、本年度取り組んだ道徳教育の授業実践を執筆し、実践集録としてまとめる。2月頃に市の共通フォルダで閲覧できるようにする。

4 成果と課題

本年8月に「道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」において、『特別の教科 道徳』の指導方法・評価等についての報告が出された。ここに示された、道徳科の理念や指導方法、評価方法について概要を研修することができた。

さらに、本格実施に向けて、各校の道徳教育推進教師を中心に、学校の道徳教育の全体計画、年間指導計画等の整備を進めなければならない。その作成方法と「考え、議論する道徳」の授業展開について、さらなる研修を推進していくことが課題である。